

診療計画説明書 経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術 (HoLEP)

終了基準	・濃い血尿ではない ・頭痛、嘔気、嘔吐がない ・発熱がない ・疼痛のコントロールができる						
経過	入院日・手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目 ~ 術後5日目(退院)
		手術前	手術後				
日付	/	/		/	/	/	/
達成目標	・手術について理解できる ・手術・麻酔に対する不安の訴えがない	・嘔気、嘔吐がない ・頭痛がない		・血圧低下がない ・カテーテル内に持続的に尿の流出がある	・自排尿がある	・自排尿がある	・濃い血尿ではない
検査 処置	・入院前に外来で検査します。 ・身長、体重の測定があります。 ・ストッキングのサイズを測ります。 ・名前を確認するためのバンドを右に巻きます。	・弾性ストッキングを履きます。 ・時計、指輪、入れ歯をはずして、手術用に準備された寝衣に着替えてください。		・歩行と同時にストッキングが脱げます。 ・朝、6時ごろ採血があります。			・退院の際、名前を確認するためのバンドをはずします。
薬剤	・必要であれば、寝る前に下剤、眠剤を希望できます。 ・内服中の薬があれば、医師、看護師にお知らせください。 	・医師より内服指示があれば、朝7時に内服していただきます。 ・点滴をするための針を腕に入れ、朝から点滴をします。 ・点滴をしながら手術室へいきます。 	・手術後、尿の管がテープで固定されています。通常、翌朝まで還流を続け、管の閉塞を防ぎます。 	・夕方からの点滴が終了しだい、点滴の針を抜きます。  ・常用薬の服用を再開下さい。中止していた抗凝固剤は医師の指示にて再開します。 			・ 排尿ができ、痛みや出血がひどくなければ退院できます。 
食事	・常食または治療食が出来ます。	・午前手術は起床後より絶飲食です。 ・午後手術は朝食後より絶飲食です。	・帰室後、許可が出れば4時間後より水分のみ開始となります。それまで絶飲食です。 ・のどが渇けば、うがいはできます。	・朝から常食または治療食が出来ます。 			
安静度	・病院内であれば、自由です。 	・病棟内のみ自由です。	・翌朝までベッド上安静のため、頭を上げたり、座ったり、歩行することはできません。 ・寝返りをうつことはできます。 ・尿の管がテープで固定されているので、足はできるかぎり曲げないでください。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">おしっこがしたくなくても 力まないでください！</div>	・朝、還流が終了したら歩行することができます。 			・何でもご相談ください！ 
排泄			・尿の管がはいっています。 ・排便がしたい場合は、お呼びください。ベッド上安静のため、ベッド上にて差込便器を使用していただきます。	・歩いてトイレに行くことができます。	▶ 経過をみて尿の管を抜きます。		
清潔	・シャワー浴をしてください。爪をきってください。			・午前中に体を拭きに伺います。	・尿の管が抜ければ、シャワー浴ができます。		
指導 説明	・入院生活・手術の説明 ・手術承諾書を提出してください。 ・手術に必要な物品を確認します。 ・化粧・マニキュアを落としてください。 ・ご不明の点は主治医、看護師にお尋ねください。	担当医の術前説明 外来でお渡しした同意書に記載 	・手術後の説明 担当医のスケジュールをお聞き下さい。 ・尿道に管が入っています。管の刺激で尿道が痛んだり、おしっこがしたくなったり、排便がしたい感じがします。 ・麻酔を使用しているため、頭痛や吐き気がすることがあります。 我慢できないときにはお知らせ下さい。痛み止め、吐き気止めを使用します。			・退院後の生活・外来受診について説明があります。	

※病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わります。
※入院期間や治療内容は現時点で予想できるものであり、症状により変わります。